

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009.10.28号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

横浜マリンタワー

計画書のFMヨコハマ サテライトスタジオ 実際はなし



開港100周年記念事業として作られた横浜マリンタワーは、運営会社の氷川丸マリンタワー(株)が入場者減に伴う経営悪化で営業停止していたものを横浜市が買い取り、開港150周年にあわせて耐震工事などが施され、今年5月23日にリニューアルオープンしました。

この再生事業の総事業費は約31億円。運営事業者として2007年6月に不動産会社のリスト(株)が選ばれ、(株)ゼットン、横浜エフエム放送(株)等が構成員として一緒に運営にあたることになっています。

選考委員会ではFMヨコハマが評価

リストが提出した運営計画書によれば、1階の広場の前に「FMヨコハマサテライトスタジオ」を設け、「マリンタワーの活性化と集客のためのメディア機能として」「各種イベントの企画や地域企業の広報・宣伝にも貢献する場とする」となっています。

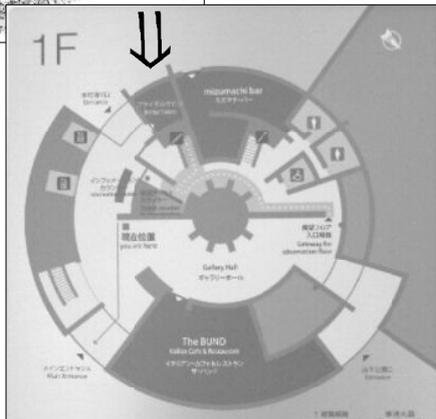
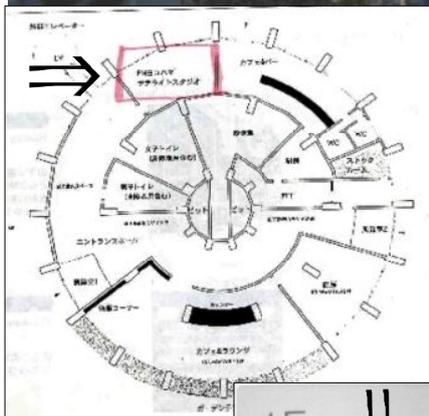
事業者選定委員会ではこの点を評価し、審議報告書の総評で「FMラジオを活用した観光情報発信機能も評価」と記しています。

市当局はリスト言いなりに対応か

ところが、実際にオープンしたマリンタワー1階には、スタジオがありません。日本共産党の河治民夫議員が調査した結果では「FMヨコハマはレギュラーではない。8月30日に1回あっただけ」(施設職員)とのこと。河治議員が決算特別委員会で「計画書とちがう」と指摘。担当局長は「特別なスタジオは想定外」「随時必要な情報発信・放送等は行われていく」と答弁。河治議員は「リスト言いなりに対応してきたのを根本的に改めよ」と要求しました。

リストの社長は中田前市長に多額の献金

リスト(株)の社長とその妻は、2006年に「中田市長を支える会」に限度額の150万円をそれぞれ献金。また、横浜エフエム放送(株)の社長は、当時中田氏を支えるトップとも言われた藤木幸夫氏です。



2007年2月にリスト(株)から提出された事業計画書(上)の「FMヨコハマサテライトスタジオ」(矢印)は、実際(右)には「ブライダルサロン」になっています。